

ARIBの動き

第27回通常総会を開催

2月27日、ホテルニューオータニにおいて第27回通常総会を開催し、平成21年度の事業計画及び収支予算等について審議し、事務局提案のとおり議決して終了しました。

会員の皆さまのご支援にお礼を申し上げますとともに、平成21年度の事業の推進に一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

第27回通常総会において、議決された事項の概要は、次のとおりです。

Ⅰ 平成21年度の事業計画及び収支予算について

次に示す平成21年度の事業計画書及び収支予算書を議決しました。

1 平成21年度事業計画書

第1 方針

通信・放送分野における電波の利用に関する、調査研究、研究開発、電波有効利用試験研究事業、照会相談業務等のコンサルティング、情報提供業務、普及啓発事業、電波利用システムの標準規格の策定、関連外国機関との連絡及び特定周波数変更対策業務を積極的に推進する。

また、平成20年12月1日に公益法人制度改革3法が施行されたことに伴い、新制度への移行のための準備を行う。



第27回通常総会の様子

西田会長

第2 事業計画

1 通信・放送分野における電波の利用に関する調査、研究及び開発

(1) 調査研究

第三代移動通信システムの後継システム等の調査研究、デジタル放送の品質評価法の調査研究、電磁環境の技術に関する調査研究等を始めとして、今後の電波利用システムに関する技術動向、需要動向、標準方式等について、広く内外にわたって調査研究を行うとともに、関係機関からの受託調査を行う。

(2) 研究開発

デジタル放送システムの研究開発等を始めとして、電波の有効利用に関する技術の研究開発を行うとともに、電波利用システムに対する需要動向等に基づき新たな電波利用システムの研究開発を行う。

(3) 電波有効利用試験研究事業

関係機関からの委託に基づき次世代移動通信システムの周波数共用技術等の電波のより効率的な利用に資するための技術に関する試験研究を行う。

2 通信・放送分野における電波の利用に関するコンサルティング、普及啓発並びに資料又は情報の収集及び提供

(1) コンサルティング

無線回線の使用可能周波数及び伝搬障害防止に係る照会相談業務等のコンサルティングを実施するとともに、照会相談業務を行うための電子計算システムについて、機器の整備、ソフトウェアの開発等を行う。

(2) 情報提供業務

電波の有効かつ適切な利用に寄与する無線局の周波数及び無線設備等に関する事項について、情報提供業務を行う。

(3) 普及啓発事業

デジタル放送技術等の国際普及活動を始め電波利用システムに関する国内外における普及活動を行うとともに、電波の利用に関する行政方針、電波利用

システムに関する標準規格及び技術開発動向等に関する講演会等の開催、ホームページによる標準規格等の情報の提供並びに機関誌・ニュース等の発行を行う。

また、電波の有効利用に功績のあった個人又は団体の表彰を行う。

3 通信・放送分野における電波利用システムの標準規格の策定

電波利用システムの研究開発等の成果に基づき、無線機器製造者、利用者等の意向を十分に反映して、各種の電波利用システムの標準規格を策定する。

4 通信・放送分野における電波の利用に関する関連外国機関との連絡、調整及び協力

電波利用システムの調査研究、研究開発等に関する事項について、密接に関連外国機関との連絡、調整及び協力を行う。

5 特定周波数変更対策業務

地上テレビジョン放送のデジタル化を行うために必要な地上アナログテレビジョン放送に係る特定周波数変更対策業務を実施する。

6 特定周波数終了対策業務

特定周波数終了対策業務は、実施しない。

2 平成21年度収支予算書

収支予算書総括表

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位 千円)

科目	合計	一般会計	周波数変更 特別会計	基金特別会計	内部取引消去
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
(1) 会費収入	295,300	295,300	-	-	
(2) 事業収入	2,052,531	1,086,500	966,031	-	
(3) 繰入金収入	0	30,000	-	0	-30,000
(4) 国庫債務負担行為交付金収入	0	-	0	-	
(5) 特定資産運用収入	30,000	-	-	30,000	
(6) 雑収入	1,300	100	0	1,200	
事業活動収入計 (A)	2,379,131	1,411,900	966,031	31,200	
1 事業活動支出					
(1) 事業費支出	2,142,399	1,367,550	774,849	-	
(2) 金融費支出	191,182	-	191,182	-	
(3) 管理費支出	172,400	172,400	-	-	
(4) 繰入金支出	0	-	-	30,000	-30,000
事業活動支出計 (C)	2,505,981	1,539,950	966,031	30,000	
事業活動収支差額 (A)-(C)	-126,850	-128,050	0	1,200	
II 投資活動収支の部					
1 投資活動収入					
(1) 特定資産取崩収入	149,400	-	-	149,400	
(2) 繰入金収入	0	160,000	-	65,000	-225,000
(3) 敷金戻収入	10,600	-	-	10,600	
投資活動収入計 (A)	160,000	160,000	0	225,000	
1 投資活動支出					
(1) 特定資産支出	66,200	-	-	66,200	
(2) 繰入金支出	0	65,000	-	160,000	-225,000
(3) 固定資産取得支出	13,500	13,500	-	-	
投資活動支出計 (C)	79,700	78,500	0	226,200	
投資活動収支差額 (A)-(C)	80,300	81,500	0	-1,200	
III 財務活動収支の部					
1 財務活動収入	0	0	-	0	
財務活動収入計 (A)	0	0	-	0	
1 財務活動支出	0	0	-	0	
財務活動支出計 (C)	0	0	-	0	
IV 予備費支出	53,450	53,450	-	0	
前期繰越収支差額	100,000	100,000	0	0	
当期収支差額	-100,000	-100,000	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	0	

注 周波数変更特別会計は特定周波数変更対策業務特別会計を示す。

II 補充役員の承認について

第26回通常総会以降に書面表決による理事会において選任された補充役員4名の承認を受けました。

役職	氏名	現職	
理事	勝俣 恒久	東京電力株式会社 取締役会長 (田村滋美前理事の後任)	(20.7.30選任)
理事	山田 隆持	株式会社NTTドコモ 代表取締役社長 (中村雅夫前理事の後任)	(20.7.30選任)
理事	野副 州旦	富士通株式会社 代表取締役社長 (秋草直之前理事の後任)	(20.8.20選任)
監事	小谷 進	パイオニア株式会社 代表取締役社長 (須藤民彦前理事の後任)	(20.12.16選任)

III 退職役員の退職慰労金に係る業績勘案率について

平成20年7月20日付けで退任した小林 哲前常務理事の平成20年7月1日から平成20年7月20日までの退職慰労金に係る業績勘案率が決定されました。

2. 5GHz帯を使用する広帯域移動無線アクセスシステムのうち
次世代PHS方式の端末設備の技術基準等に関する意見募集
(平成21年2月17日総務省報道発表)

総務省では、2. 5GHz帯を使用する広帯域移動無線アクセスシステム（次世代PHS方式）について、電気通信事業法における端末設備の技術基準及び試験方法の追加等を内容とする告示改正案を作成しました。

本改正案について、本日から平成21年3月19日（木）までの間、意見を募集します。

1 意見募集対象

- (1) 専用通信回線設備等端末の電氣的条件及び光学的条件を定める件の一部改正案
- (2) 端末機器の技術基準適合認定等に関する試験方法を定める件の一部改正案
- (3) 端末設備であって電波を使用するもののうち、利用者からの接続の請求を拒めないものを定める件の一部改正案

2 意見公募の期限

平成21年3月19日（木）17時必着（ただし、郵送については、平成21年3月19日（木）付けの消印まで有効とします。）

詳細は、(http://www.soumu.go.jp/s-news/2009/090217_6.html)を参照してください。

編集後記

3月13日の運行を最後に、ブルートレインの愛称で人気を呼んだ寝台特急「はやぶさ」（東京－熊本）＆「富士」（東京－大分）が廃止されます。運転最終日の640席のチケットは10秒で完売したようです。私が撮影に行った3月2日は17時前から東京駅の10番ホームや新幹線の20番ホームにはカメラを持った人が集まり始め、18時3分の発車時には100人を超す撮影者でした。最終日は、10番ホームに500人を超す鉄道ファンがつめかけるそうです。（H.K.）

